

明神小学校 「学力向上実行プラン」

研究テーマ

学力向上のための指導方法及び学習環境の工夫・改善
～主体的に学習に取り組み、表現できる児童を育成するために～

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長	教頭
		教務主任	
		研修主任	
		生徒指導主任	
		人権教育主事	

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況	
よ さ	朝の活動の時間や授業中は、与えられた課題に対して真面目に取り組むことができる。基本的な計算等については繰り返し学習により一定の成果が上がっている。	基礎・基本(計算・漢字)を確実に身につけている。正しい言葉で文章を読んだり、書いたりすることができる。	家庭学習の提出率を90%以上、基礎的・基本的な事項についての確認テスト(計算・漢字等)で正答率を学級の80%以上にする。			
課 題	文章を書く時に漢字やローマ字を使わない、ものさしを使わないなど、丁寧さや正確さに課題がある児童がいる。特に家庭学習については、個人差が大きい。	①計画的に宿題を出し、提出状況等を把握する。 ②朝の活動を計画的に活用し、反復練習時間の確保をし、計画的な小テストを実施する。 ③多読賞の表彰をしたり、定期的に学級文庫の点検・交換を行ったりする。	①朝の活動の計画的充実(計算・漢字・音読・読書など)。 ②小テストの実施と工夫。 ③読書の目標冊数を学年に応じて提示し、学期ごとに目標を達成した児童を賞賛する。	評価	次年度における改善事項	

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況	
よ さ	教師や友達の話を聞き、自分の考えを持ち、進んで発言しようとする児童が多い。友達などのよさに気づき、文章を書くことができる。	根拠や目的を明確にし、自分の意見を表明することができる。	「自分の考えを根拠や理由を明確にし発表することができた」「振り返りカードなどに自分の思ったことを(学年に応じたねらいで)文章に書くことができた」と答える児童が学級の80%以上			
課 題	正確に文章を読み取ったり読解力、思考力、表現力が弱い。何となく問題を解いており、なぜそうなるか説明できない。自分の思いを十分表現できない。	①視覚的に分かりやすい授業(ICT活用等、ノート指導、構造的な板書)をする。日記、作文指導を週に一回以上する。 ②適切な指導法を教師間で共通理解し、一貫性のある指導をする。(研究授業を行う) ③特別活動における自発的・自治的活動を推進する。	①「聞く、話す、書く」について2か月に一度振り返りシートを書き、PDCAを行う。 ②校内研修で指導法の共通理解をする。 ③学級会、代表委員会、元気っ子班活動での話し合いを継続する。	評価	次年度における改善事項	

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況	
よ さ	得意なことは、何度も挑戦できる。やらなければならないことは、やり遂げようとする。素直に指導を受けることができる。	主体的・対話的な活動の中で、自ら課題を見つけ、意欲的に学習する。進んで自分の考えを表現しようしたり、自主学習をしようしたりする。	「苦手なところをすすんで自主学習することができた」と答える児童が学級の80%以上。			
課 題	自主的に学習する態度が身につけていない。苦手な問題はあきらめがちで、もっと学習したいという向上心に乏しい。	①支持的雰囲気のある学級経営をする。 ②家庭学習の手引きを見直し、児童に知らせ、全家庭に配布する。 ③家庭学習の仕方や状況を学校・学級だよりや懇談などで、家庭に周知する。	①1か月に1度は、学級すべての児童の意欲的な活動を賞賛する。 ②③家庭学習について毎月の学校・学級だよりや懇談などで広報し、家庭との連携を図る。	評価	次年度における改善事項	

平成29年度 学力向上ロードマップ

